

vol. 2338

【発行】大分県高等学校教職員組合教宣部 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館
TEL／(097) 556-2838 FAX／(097) 556-8998 MAIL／ohtwu@view.ocn.ne.jp

大分県高教組情報

【発行者】大野 真二

【印刷】(株)佐伯コミュニケーションズ

【売 価】30円(組合員の購読料は組合費の中に含んで徴収しています)



今号の掲載内容 (掲載順)

- 高教組フェスタ2025 ● 2025年度高教組体育大会
- 第44回大分県高教組障害児学校部夏季研修会 実施報告
- 第4回「9.19を忘れない！立憲主義を語る会」
- 日教組高校教育シンポジウム 参加報告 ● 九協第56回組織運動交流集会 参加報告
- 2025年度 日教組平和集会 in 長崎 参加報告 ● 第62回護憲大会 参加報告

高教組フェスタ 2025

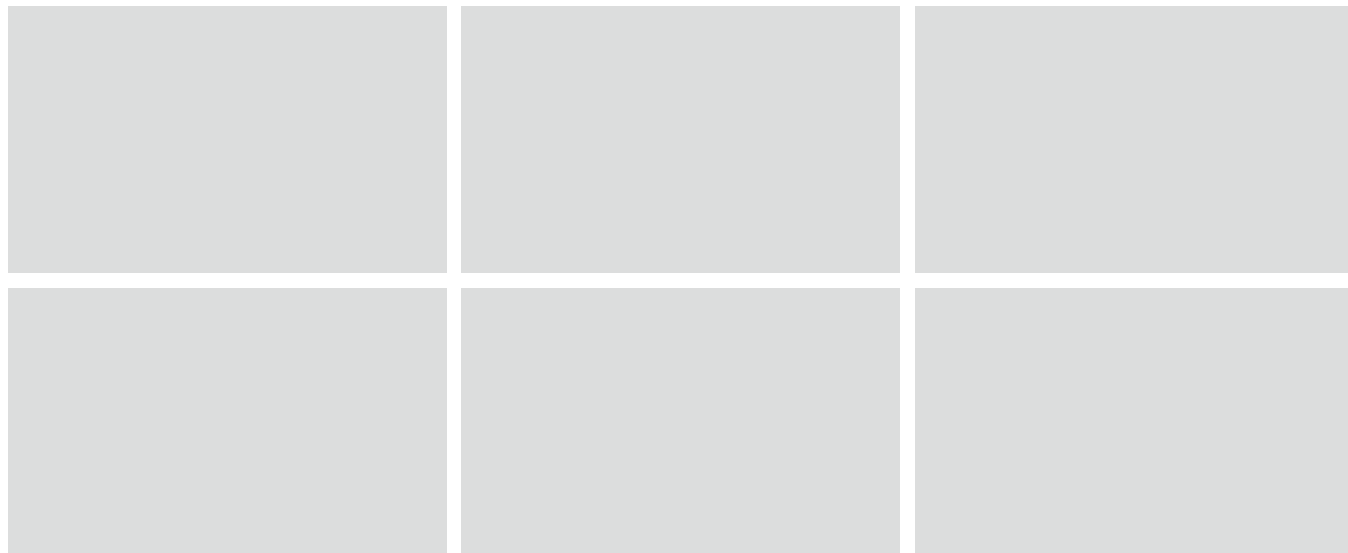
とき：10月18日（土） ところ：教育会館多目的ホール

「高教組フェスタ2025」を10月18日（土）、教育会館多目的ホールにて開催しました。今年度は、全体会で「お金の話」と、「戦後80年企画—保戸島から世界平和を考える—」を行いました。講演会終了後は、oita yukai〜ゆかい〜 に会場を移して夕食交流会を実施しました。

【お金の話】毎年好評の「お金の話」を今年も実施！ 教職員共済、ろうきんの方をお招きし、みんなで学習しました。さまざまなリスクへの備えは大丈夫ですか？ NISAとiDeCoの違い、皆さんお分かりですか？

【戦後80年企画】津久見市・臼杵市の朗読劇グループ「みかんとカボス」の方々に来ていただき、朗読劇を鑑賞した後、トークセッションを行いました。「伝承」はこれから先、ますます重要になってきます。私たちも平和について考え続けていかなければなりませんし、子どもたちにも伝えていかなければなりません。

【夕食交流会】田畑幸子さん（新生支援分会）の進行のもと、各支部紹介を入れながら、各テーブルで、仲間たちや家族での会話に花を咲かせました。旧交を温め、親交を深める様子が随所に見られました。あらためて、集い、語ることの楽しさ、大切さを実感する会となりました。



2025年度高教組体育大会

とき：10月19日（日） ところ：OBS BOWL

2年ぶりとなる高教組体育大会を10月19日（日）に開催しました。ボウリング競技に7チーム（団体戦登録はうち2チーム）、20人が参加し、和気あいあいながらも真剣勝負なところもあり、久しぶりの体育大会を満喫する姿が見られました。久しぶりの開催、学校行事の多い2学期、…ということもありますが、ワーク・ライフ・バランスを考えるひとつのきっかけでもありますので、もっと多くの方に何とか参加していただければと思います。来年は、様々なイベントを「忙しいから」と断念する気持ちを「忙しい中のひとつの癒し」の気持ちに変えられるよう、組合全体として、日ごろからとりくんでいければと思います。

閉会式の様子

団体戦優勝 チームうささん

団体戦準優勝 雄城台

個人戦優勝 長井剛さん

個人戦準優勝 松並優輝さん

個人戦第三位 植田茂樹さん

第
44
回

大分県高教組障害児学校部 夏季研修会 実施報告

とき：9月20日（土）

ところ：教育会館201研修室

第4回「9.19を忘れない！立憲主義を語る会」

とき：9月23日（火） ところ：教育会館多目的ホール

9月23日、「9.19を忘れない！立憲主義を語る会実行委員会」主催で行われた講演会、トークセッションに参加しました。最初に枝野幸男さん（衆議院憲法審査会会長／立憲民主党最高顧問）が「憲法審査会の現状と政治状況」との演題での基調講演を行いました。残念ながら2015年9月19日に、安倍政権が「安全保障関連法」を強行採決しましたが、その後のたたかひの成果により、本来政権が目指していた「自衛隊が地球の裏側まで行く」という目的は阻止できているということで、たたかひを続けることが大切であるとのことでした。

その後のトークセッションは小林華弥子さんの司会で、岡田倫明さん（大分県原爆被害者団体協議会（大分県被団協）会長）、日高礼子さん（赤とんぼの会事務局）をパネリスト、枝野幸男さんをコメンテーターとして、「戦後80年、私たちの平和市民活動」について活発な意見交換が行われました。ここ10年くらいで「伝承」の弱まりを感じる中、語り継ぎを急いでやらないと間に合わない現状が共有されました。

立憲主義とは、憲法が政府をしばることで成り立ちます。立憲主義を守るため、改憲勢力が国会の議席の2／3に達することが絶対にないよう、日々のとりくみが大切であることを再度認識しました。

日教組高校教育シンポジウム 参加報告

とき：10月3日（金）、4日（土） ところ：日本教育会館

初参加で会場も初めてで恐る恐るの参加でしたが、分散会や分科会で各県の組合員の意見や経験を聞いて、同じような悩みが職場にあることや、職場や教育環境・制度の課題に対して声を上げ続ける姿勢に共感し、勇気づけられました。

東京の定時制の統合で、遠くなるが通学ができるという主張に、では通学費用負担は誰がするのかと問うと、当時の石原都知事がにらみつけてきたという都高教の方の話が印象に残ります。定員内不合格の問題など、就学保障が重要なのに置き去りにされている子どもたちがいます。少数の子どもたちに押し付けられた課題を考えられる教職員組合でありたいと思いました。

（中津東定時制分会 沼田庄司）

九協第56回組織運動交流集会 参加報告

とき：10月4日（土）、5日（日） ところ：教育福祉会館（那覇市）

分散会ではまず、福岡県教組より勤務校の分会員が学校の中心になれば加入は増えるという内容の発表があった。分会員が定時退校を続けること、人の悪口を言うのではなく、自分が変わり人を変えることという内容が特に印象的であった。

後半は大分県高教組の組織化・組織強化レポートで、分会員の脱退・若者の未加入について活発に議論が行われた。組織率の高い分会で行われているとりくみや組織率の低い分会で起きている問題について多くの知見を得ることができたと感じている。

（玖珠美山分会 穴井駿祐）

組合員を増やすためには、「あの人がいるから、自分も入りたい」と思わせてくれるような人材に、自らがなることが大切だと感じました。

○指導困難な生徒が多い中、ある組合員が教員の考え方を考えるきっかけになり、これまで殺伐とした空気が漂っていたのが変わっていった。

○組合員が他の教員に憧れられる人ならば、組合員が増え、その組合員が他の学校で憧れられれば、さらに増えるのではないかと考える。

○その後の実践で、若手の中でも中心人物となる人が加入してくれて、「あの人が入ったけど、あなたは入る？」などの声掛け等を行った結果、新規加入者が増えた。

ここまでの話で僕の中でも、かなりの気付きや驚きがありました。例えば、指導困難の中での教員の意識改革では、「保護者の教育が悪い」などは僕も何度か考えたこともありましたが、そうではなく、自分が何かを変えて、指導していくことが大切であると、改めて実感することができました。

（玖珠美山分会 内田日向）

「なぜ組合に入っているのか？」古くて永遠の課題であるテーマについて、あらためて考える機会をもらった。今年度、本分会新加入の講師の先生2人と一緒に。レポートは2本、1本は「組織化するためには組合員が魅力的ではない」的な力強いレポート、あと1本は、私の「数多くの組織化の失敗談」という情けないレポート。大分高教組の組織率が極端に下がっても、我々のとりくむ方向は変わる必要はないと感じた。基本的なお世話活動の徹底。我々以外にも組織率が下がって困っている職場・団体は山ほどある。時代なのであろうか？しかし、我々の正しい声は議員の力で県に国に確実に届いていることも痛感している。今に見ておれ、次の選挙でも目にも物を見せてやる。今まで負けてきた分の蓄えは思ったよりも大きそうだ。「職員室でばやくだけより自ら闘ったほうがよほど健康的である。」未組織者に伝えたい。

（玖珠美山分会 長尾秀之）

2025年度 日教組平和集会 in 長崎 参加報告

とき：10月25日（土）、26日（日） ところ：長崎市

10月25日から26日まで長崎の大会に参加してきました。1日目は、高校生平和大使の報告に戦争の怖さと平和の尊さを継承していく決意を感じました。また、日教組被爆二世教職員会の会の平野伸人さんの講演では、様々な活動に感服させられました。2日目は、被爆者講話で山川剛さんのお話を聞き、当時の様子を知ることができました。その後、立山防空壕本部跡に行きました。長崎県防空本部で、空襲警報が発令されると、県知事に要員が集まり、警備や救援・救護等各種応

急対応の指揮、連絡手配にあたっていた場所で、壕内には知事室や警察部長室、防空監視隊本部などが配置されていました。戦争当時の怖さを知ることになり、「教え子を戦場に送るな」という気持ちを新たにしました。

(別府翔青分会 林田健吾)



第62回護憲大会 参加報告

とき：11月8日～10日（土～月） ところ：横浜市

「憲法とともに歩いた戦後80年」の分科会と、被爆・戦後80年高校生のつどいに参加した。憲法学者清水雅彦教授の発表で集団的自衛権と国連の集団安全保障について考察し、現政権の台湾有事に対する違憲発言に対し問題意識を共有できた。高校生平和大使とのグループワークでは平和に対する未来への希望を感じられた。混迷する現状を打破するため、憲法理念の実現は喫緊の課題であり、改憲勢力へ負けない連帯の重要性を感じた会であった。来年度は福岡県で開催される。

(中津東定時制分会 佐藤洋一)